

# 行雲流水

No. 38 令和3年5月6日発行

## 学校経営計画の見直し（第1次）

校長 寒河江 正人

この1ヶ月、「**学校経営計画**」に見直しをかけました。

「**東根市教育等に関する施策の大綱（第2期：R3～7）**」

「**第6次山形県教育振興計画（後期計画：R2～6）**」

「**第5次山形県生涯学習振興計画（H30～R4）**」

「**中学校学習指導要領（全面实施：R3～）**」

これらの趣旨を踏まえつつ、刻々と変化してゆく「ウィズ・コロナ」の時代と向き合える教育計画にしたいと考えております。

「**教育の根幹**」には、「**生徒一人ひとりの実態（教育的ニーズ）に即した学習権の保障**」を「**ゆるがめ軸**」として据えつつ、「**未来を生き抜く人材の育成**」を目指します。

私たち教職員が「**職能**」として磨かねばならない「**中核**」は、「**担任力**」の向上です。

- 1 予測不能な世の中を生き抜く「**しなやかな学ぶ力**」の育成（学習指導力）
  - 2 「**自己肯定感・自己効力感・自己有用感**」に満ちた**支持的風土の醸成**（生徒指導力）
  - 3 一人ひとりの「**よさ（能力・特性等）**」を生かす**個別最適化した支援**（特別支援教育力）
- 私たち教職員が「**職能**」を磨き、生徒を温かく支え育めば、きっと「**成長・飛躍**」します。

「**カギ**」となるのは、

「**探究的に学ぶ喜びを育てる支援**」、「**思考のプロセス（過程）に寄り添う支援**」、  
「**3観点による指導と評価の一体化**」、「**ICTの積極的な活用による情報活用能力の育成**」、  
「**SDGsやゼロカーボンシティ等、グローバルな視点で地域課題に向き合える力の育成**」、  
「**郷土に誇りをもち、地域の担い手となる心（郷土愛）の育成**」等々。

枚挙に暇がありません。

日々、本校の実態に応じて、「**対応すべき課題・解決すべき課題**」も変化変容するでしょう。  
大切なことは、「**機を見て敏なる判断**」「**柔軟かつ寛容な対応**」かもしれません。

「**朝令暮改**」のそしりを受けることは、決して恐れずに、「**航海**」を続けたいと存じます。  
何卒、皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。